

# 国際的・地域的視野から見た少子化・高齢化の新潮流に対応した人口分析・将来推計とその応用に関する研究 事業流れ図

## 研究の背景

## 研究の方法

## 期待される成果

### 国際人口動向

- ・「ポスト人口転換」とも呼ばれる低出生・低死亡の継続
- ・国際人口移動の活発化

### 国内人口動向

- ・継続的な低出生力や人口減少
- ・人口の大都市集中・高齢期の長期化やこれに伴う生活・居住形態の多様化

### 少子化・高齢化の新潮流

このような人口や世帯の新潮流について、

- ・ 国際的・地域的視野を踏まえた確かな見解を捉える
- ・ 国立社会保障・人口問題研究所が行う人口・世帯の将来推計の精度改善とその政策的応用を行うこと

ことを目的として研究。

### 国際的・地域的視野から見た少子化・高齢化の新潮流に対応した総合的な人口・世帯の動向分析

- ・先進諸国等における最新の出生・死亡研究・全国・地域別の出生・死亡・移動とその人口学的メカニズム・離家・結婚・同棲・離婚等の世帯形成・解体行動・外国人口の分布と移動・移動と世代間関係に関する研究動向や最先端技術のレビュー、データベース整備および基礎的分析
- ・高齢者と別居子の居住関係とその要因分析、介護人材の分布・移動に関する基礎的分析
- ・出生意欲と現実出生力の差に関する要因研究
- ・人口学的分析に適した結婚・出生データベースの開発
- ・日本における地域別の人口構造が各地域の出生・死亡・移動に与える影響、世帯形成・解体行動と地域間移動の関連性に対する分析
- ・高齢者の健康状態と居住地移動の地域性、介護人材の分布・移動の地域性に関する分析
- ・若年層の進学・就職・結婚過程における移動の意図把握
- ・外国人口の分布と移動が地域人口変動に与える影響に関する分析
- ・出生意欲の将来動向に関する分析
- ・結婚・出生データベースを利用した人口学的指標の開発と動向分析
- ・高齢者・介護人材の移動に関する分析および政策提言のまとめ
- ・若年層の就業と世代間居住関係に関する分析
- ・国際人口移動および国内人口移動が地域人口の動向に与える影響に関する総合的研究

### 地域・世帯推計に重点を置いた将来推計モデルの深化に関する基礎的研究

- ・諸外国等の先進的な出生・死亡推計モデルのレビュー
- ・世帯推計の方法論的考察
- ・人口移動調査を用いた、都道府県別移動性に関するデータベース整備
- ・出生・死亡推計モデルの精緻化に関する研究
- ・外国人出生・死亡・バターンンの解明とスピン人口推定の精緻化
- ・外国人人口移動の地域的差異に関する研究
- ・人口・世帯変動における都道府県別移動性に関する基礎的分析
- ・日本の近年の結婚・出生・死亡動向に適した推計モデルの開発
- ・外国人将来推計改善モデルの開発と推計結果の評価
- ・地域別人口推計と世帯推計の統合化に関する研究
- ・都道府県別移動性に関する総合的研究

### 将来推計を活用した政策的シミュレーションに関する研究

- ・日本人・外国人の国際人口移動に関する政策変化と将来の人口規模・構造への影響
- ・外国からの介護人材確保と社会保障制度との関係についての基礎的な分析
- ・国際人口移動施策の違いが人口動態と将来人口に及ぼす影響
- ・世帯・居住状態の変化が政策的・行政的ニーズに及ぼす影響に関する研究
- ・外国からの介護人材確保と社会保障制度への影響と課題に関する分析と政策シミュレーションの設定に関する検討
- ・外国からの介護人材確保と社会保障制度との関係について政策シミュレーションへのパラメータおよび政策提言の提示と将来人口・社会保障シミュレーション
- ・地域別の世帯・居住状態の変化が政策的・行政的ニーズに及ぼす影響に関する研究
- ・人口移動および出生に関する政策効果が発揮され得る場合の地域別将来推計人口

社人研の人口・世帯の将来推計は公的年金の財政検証を始めとした様々な厚生労働行政の施策立案に活用されており、本研究による人口・世帯に関する一連の将来推計の精度改善は、このような各種施策の定量的な議論に資するとともに、国民の各種制度に対する信頼性の向上に結びつく。

少子化・高齢化の新潮流に対応した、出生・死亡・移動など各種人口変動要因に関する動向についての最先端技術を踏まえた分析の深化が可能となり、わが国の急速な少子化・高齢化の要因を踏まえた、きめ細やかな施策立案が可能となる。

子育て・医療・介護等の施策立案に必要な地域の将来人口や高齢世帯の見通しなど、厚生労働行政施策のニーズにマッチした地域・世帯に関する詳細な将来推計結果の提供が可能となる。

人口・世帯に関する将来推計に基づいた政策シミュレーションの実行により、外国人労働者受入など種々の政策課題の評価への応用が可能となる。